
新型コロナウイルス感染症にかかる 県内の感染動向等について

対象期間 1月17日～1月23日

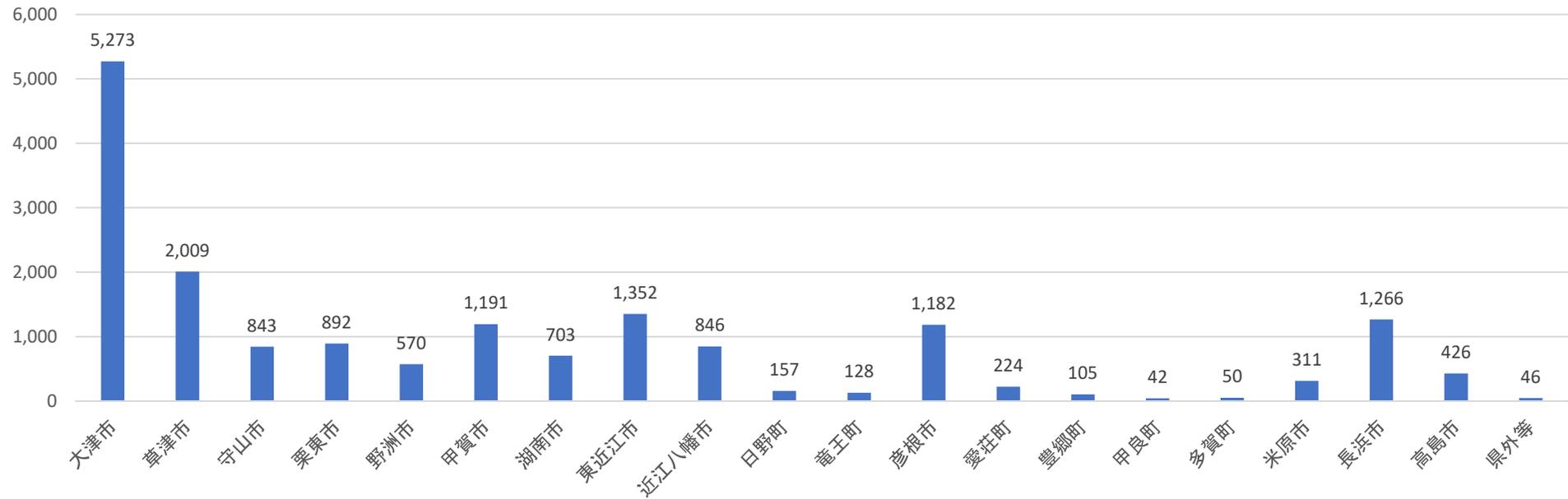
1月25日 健康医療福祉部感染症対策課

1、県内の感染状況について

1) 県内の陽性者発生状況

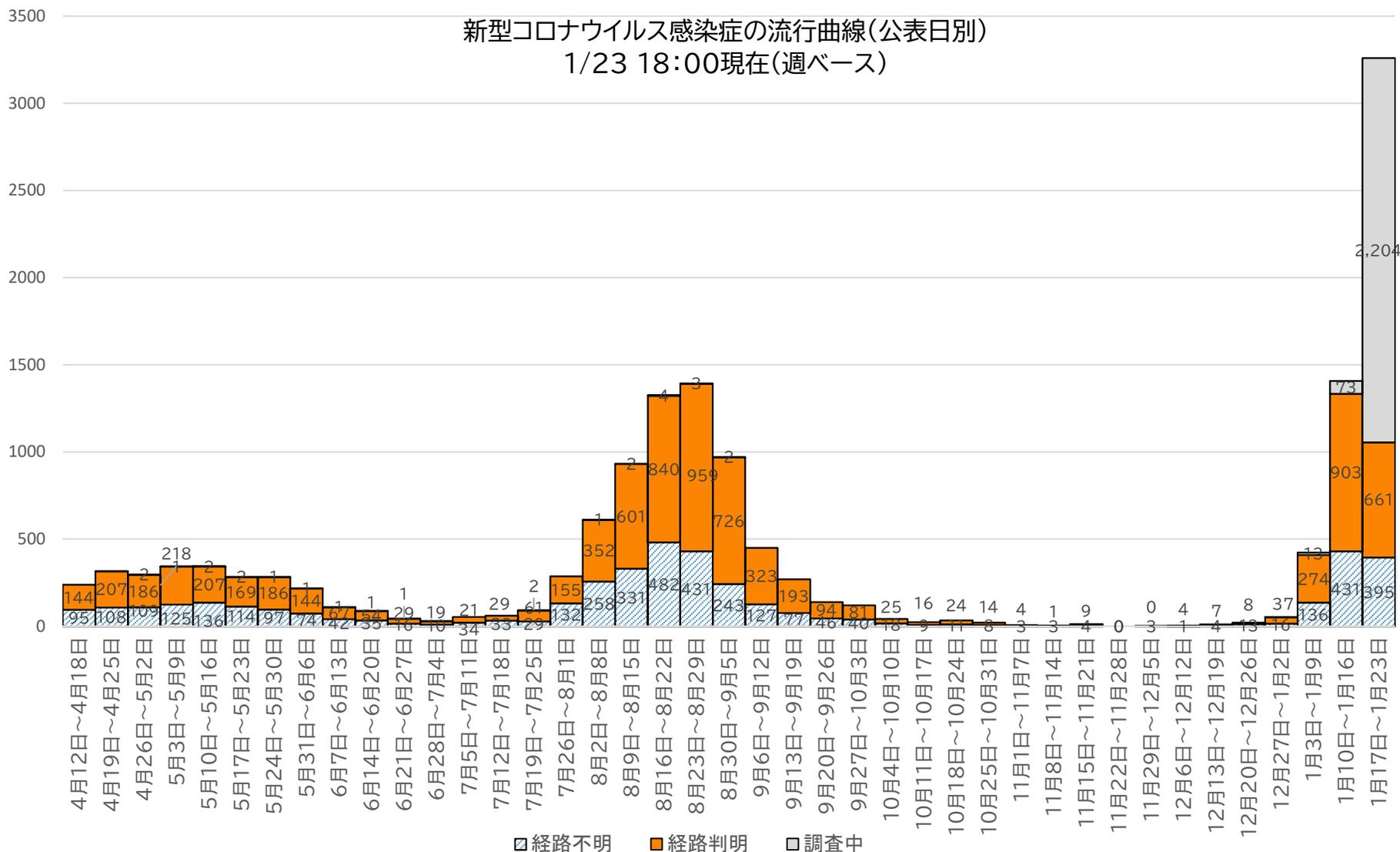
	新規感染者数
今週の報告数(1/17~1/23)	3,260人
累計(1/23時点)	17,616人

2) 市町別の累計陽性者発生状況



3) 県内の感染動向

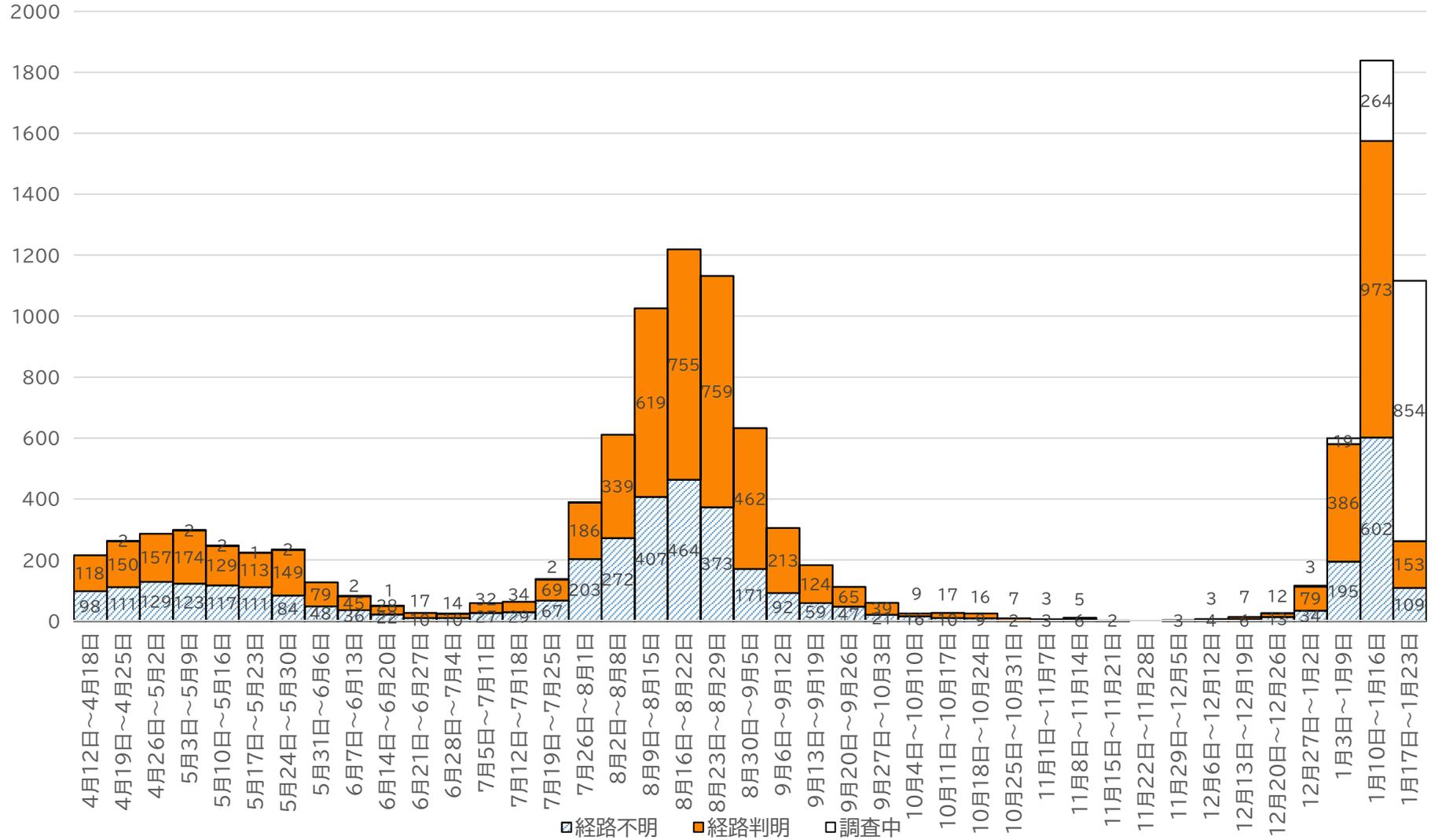
① 流行曲線(公表日別)(1月23日現在)



流行曲線：感染症の流行を経時的に観察し、流行の特徴を把握することができます。

②流行曲線(発症日別)(1月23日現在)

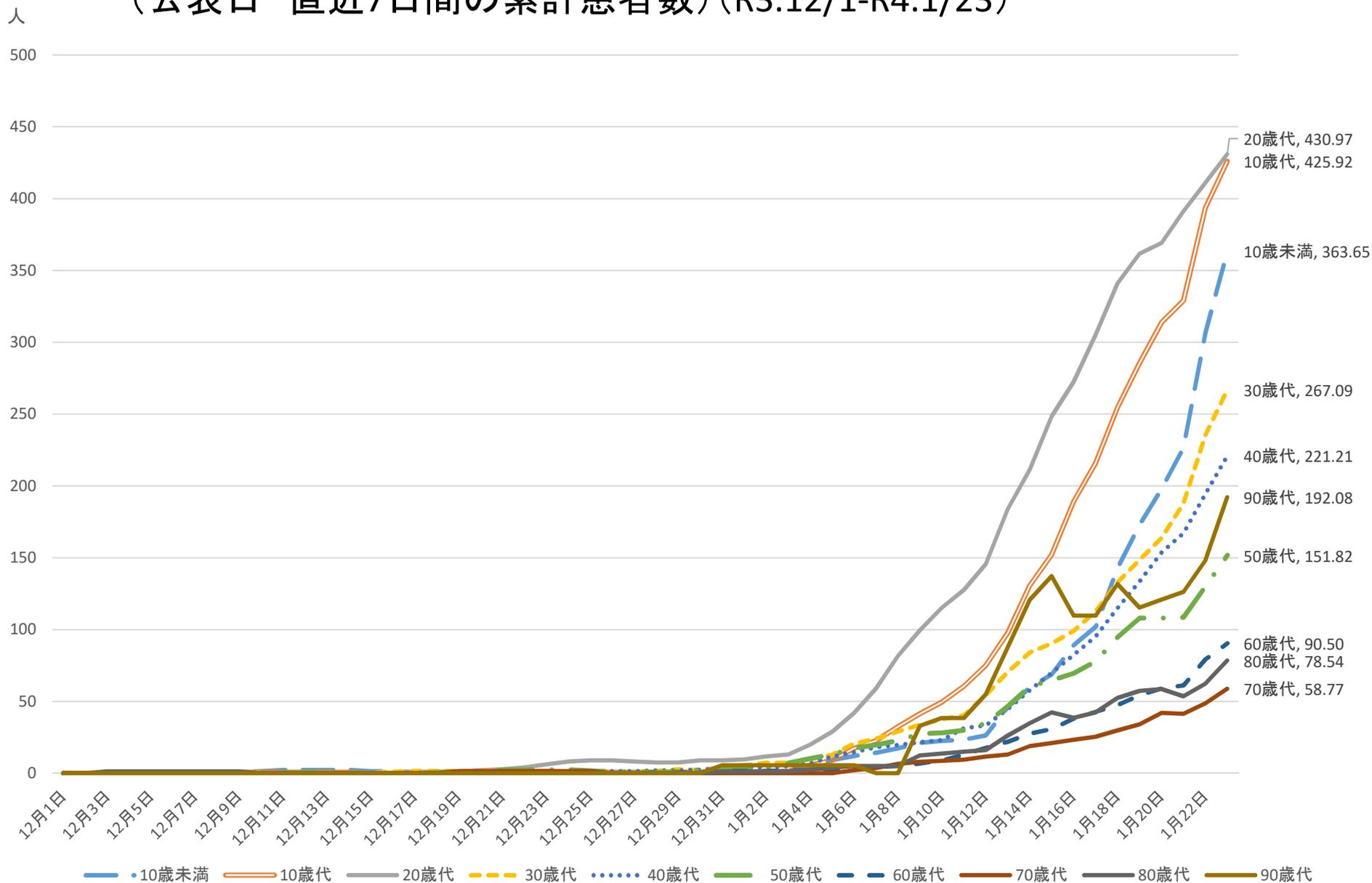
新型コロナウイルス感染症の流行曲線(発症日別)
(無症状者は除く)1/23 18:00現在(週ベース)



注)無症状者を計上していません。今後1/23以前に発症した患者が届出されることがあります。

4)年代別 10万人あたりの新規感染者数推移

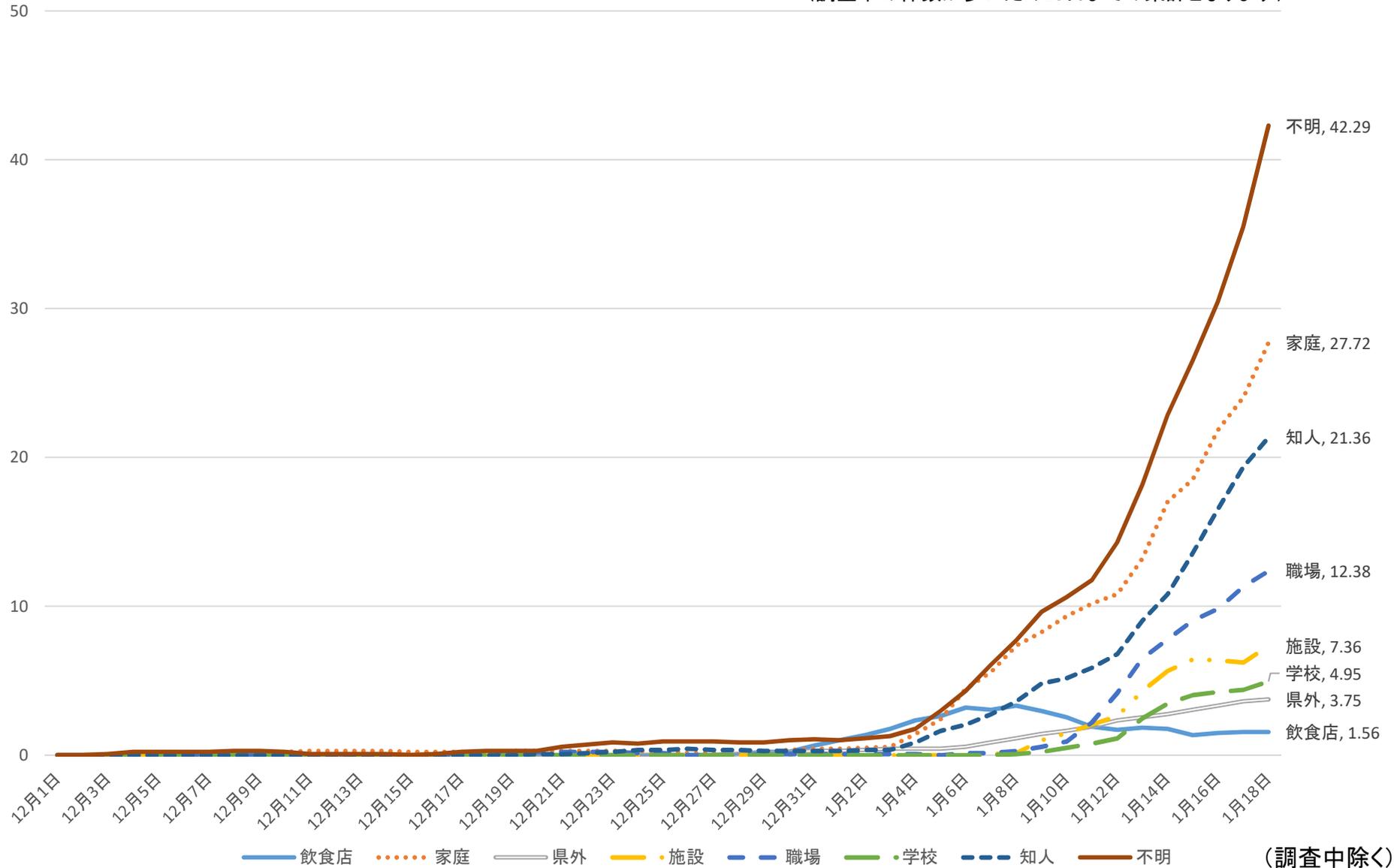
(公表日 直近7日間の累計患者数)(R3.12/1-R4.1/23)



5)陽性者の感染経路(10万人あたり)推移

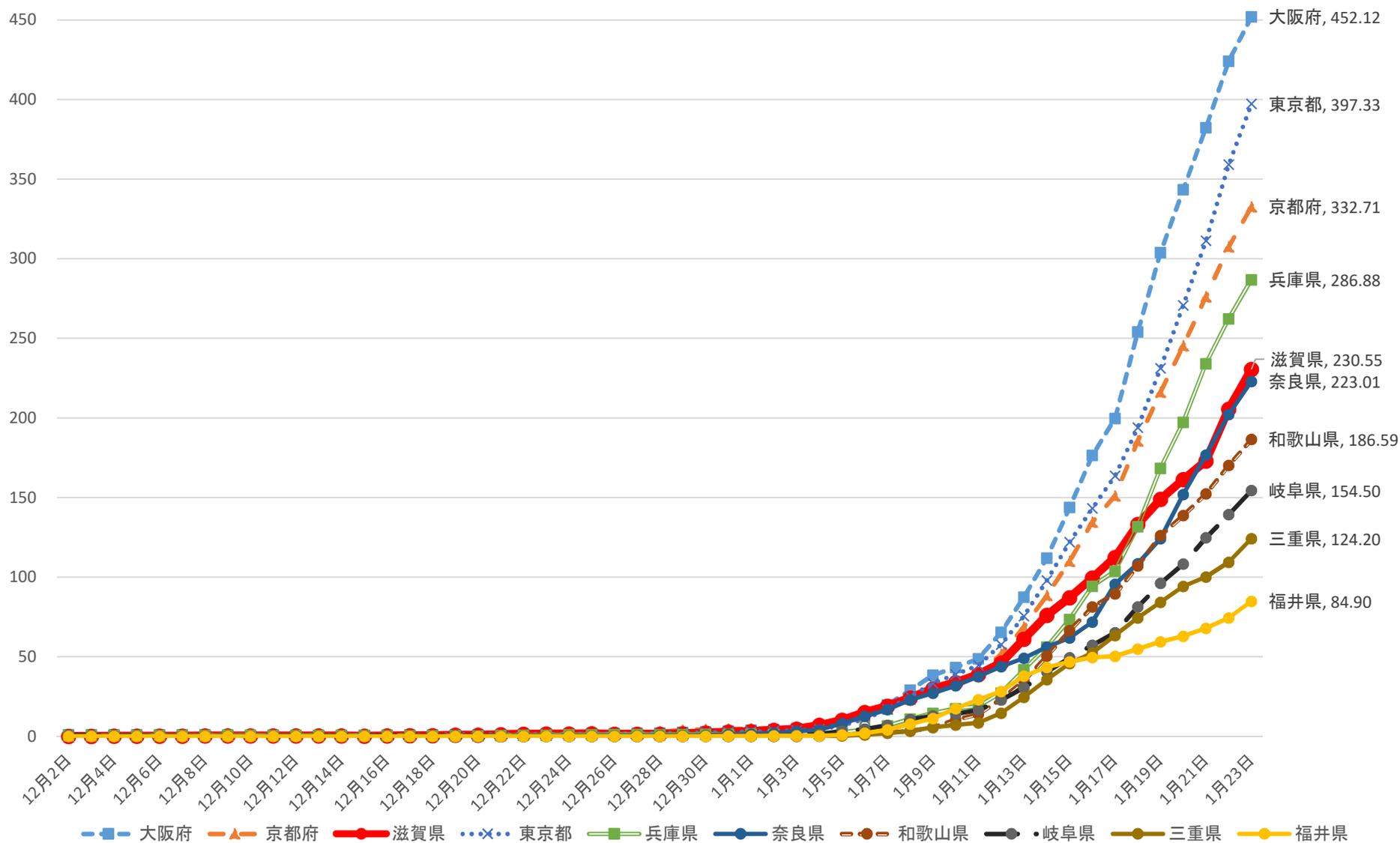
人 (公表日 直近7日間の累計患者数)(R3.11/1-R4.1/18)

(調査中の件数が多いため18日までの集計となります)



6) 近隣府県等の10万人当たりの新規感染者数の推移

人 (直近7日間の累計患者数)(R3.12/1-R4.1/23)



2、県内の感染状況と体制について(1/23現在)

1) 県内の病床数および宿泊療養施設の状況

	県内 病床数					県内 宿泊療養 部屋数					
		入院者数	空床数		療養者数		清掃・修理待ち	空数			
			県内発生	その他					県内発生	その他	
総数	476	251	213	38	225	677	316	316	0	103	258

2) 県内の陽性者発生状況

項 目	陽性者数累計	現在 陽性者数						入院予定等	宿泊 療養	退院等	死亡
			入院中								
				重症	中等症	軽症					
PCR検査数	214,313	3,958	213	0	31	182	3,429	316	13,553	105	
(うち行政検査分)	80,920										17,616
(うちその他検査分)	133,393	(うちPCR検査判明分)	13,168	(うち自宅待機)	1,249						
抗原検査 数	107,611	(うち抗原検査判明分)	4,448	(うち自宅療養)	2,180						

重症：人工呼吸器またはECMO(体外式膜型人工肺)が必要

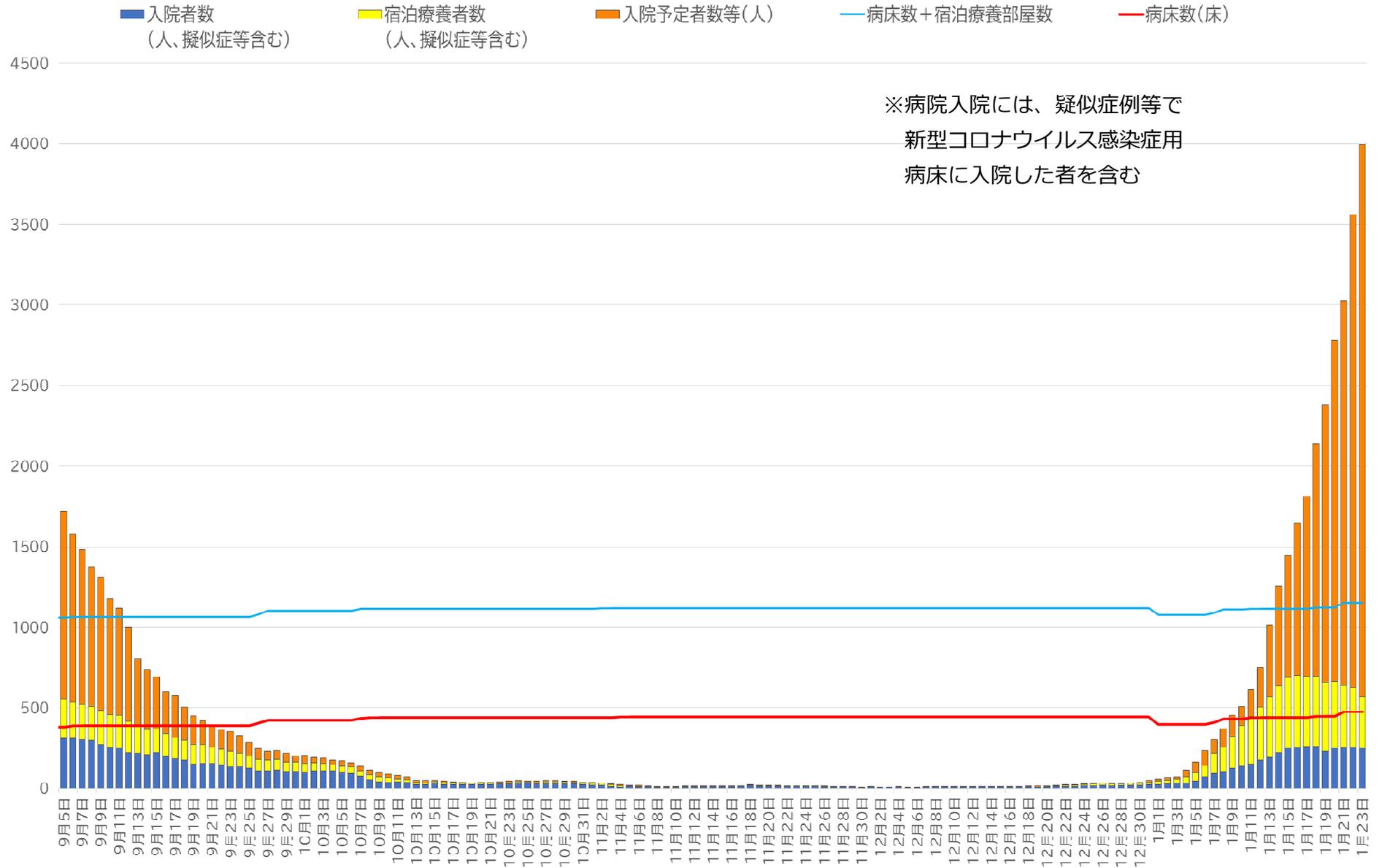
中等症：酸素投与が必要または摂食不可能

軽症：無症状または酸素不要、摂食可能

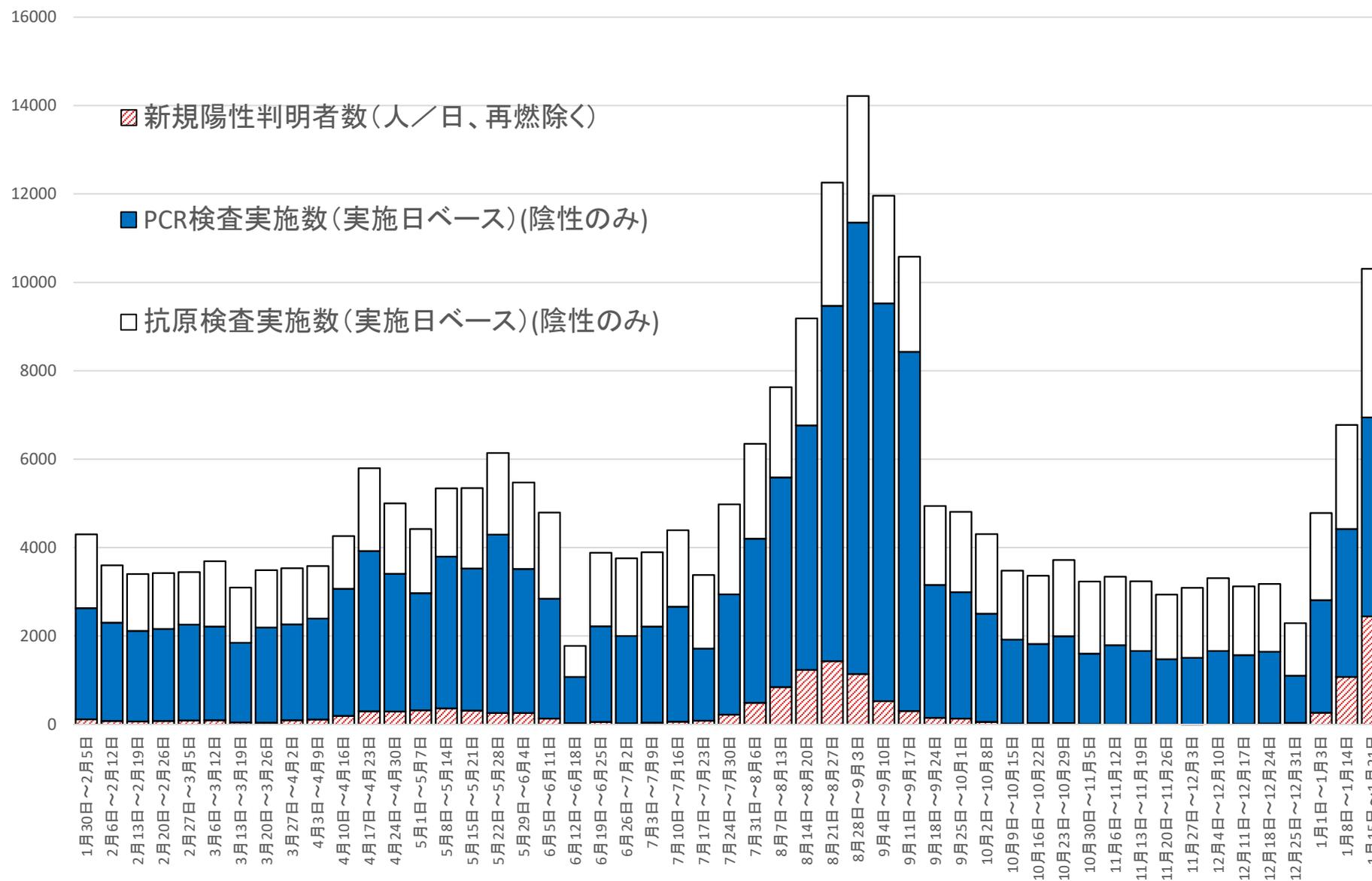
重症者以外のICU(集中治療室)利用者数

0人

3)入院医療体制について



4)PCR等検査の状況(陰性確認を除く)



5)陽性率(7日間移動平均)

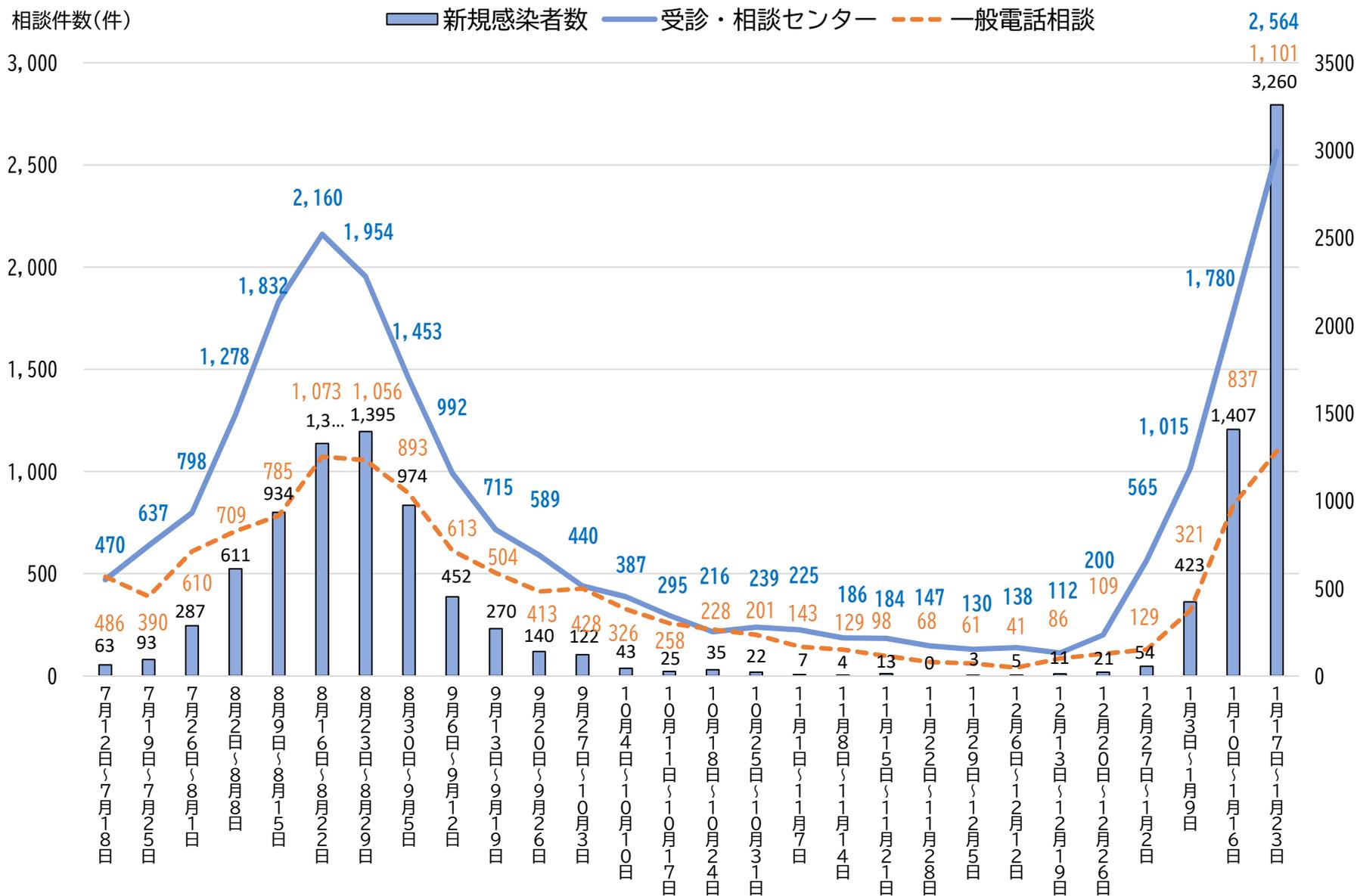


- 陽性率の7日間の移動平均(その日までの7日間の平均)を見ると、1月21日現在の陽性率は22.0%でした。

6) 相談体制について

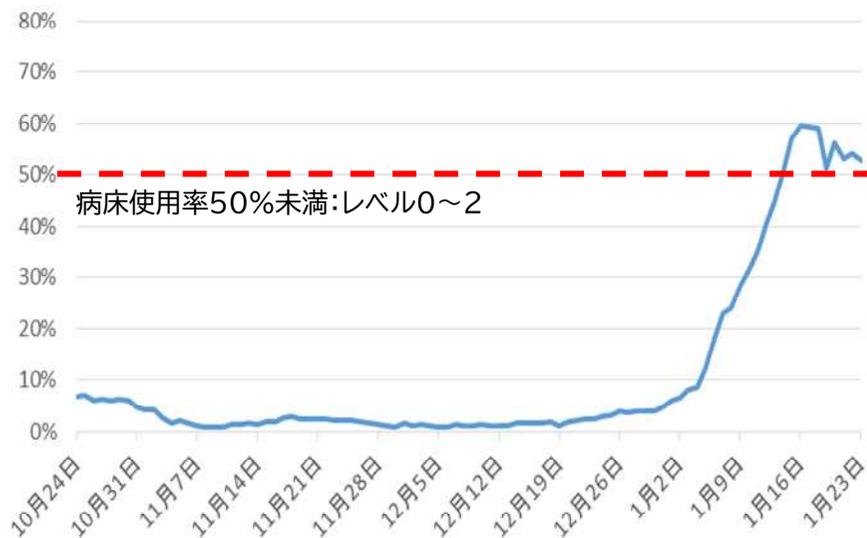
相談件数と新規感染者数（週計）

新規感染者数(人)

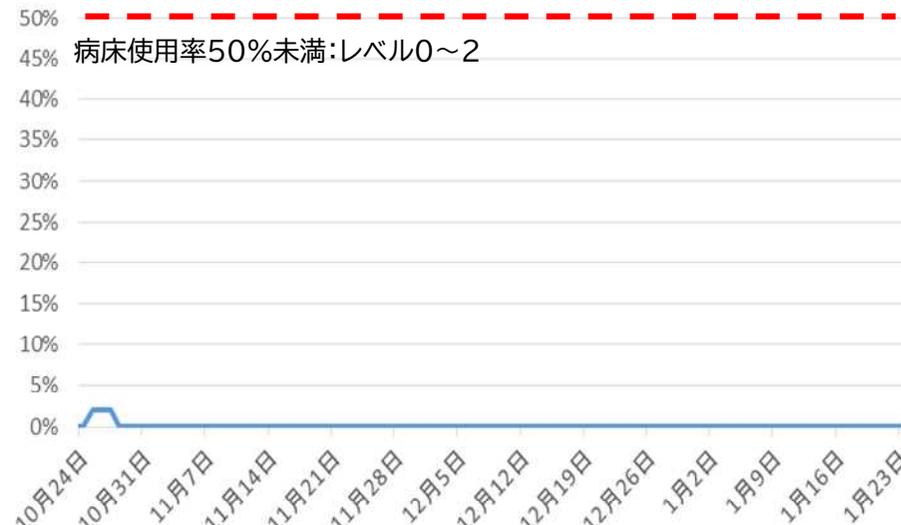


7)その他の県内の感染動向

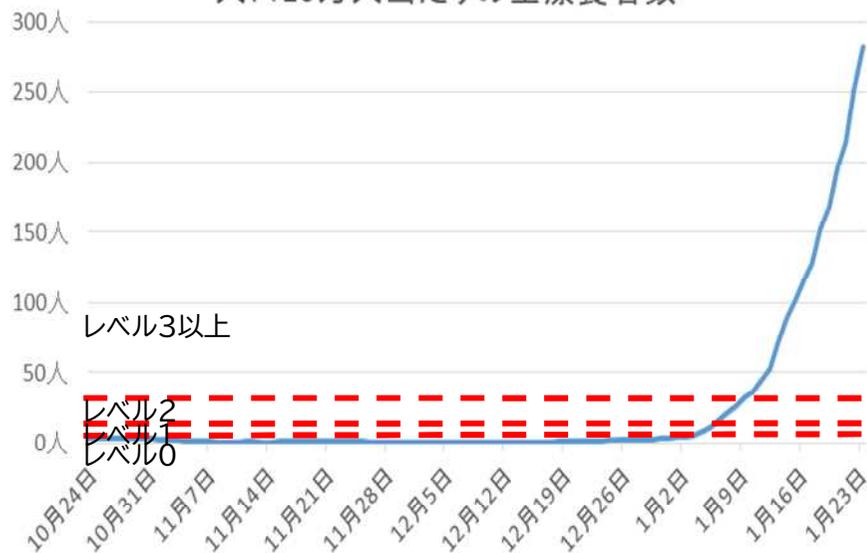
最大確保病床の占有率



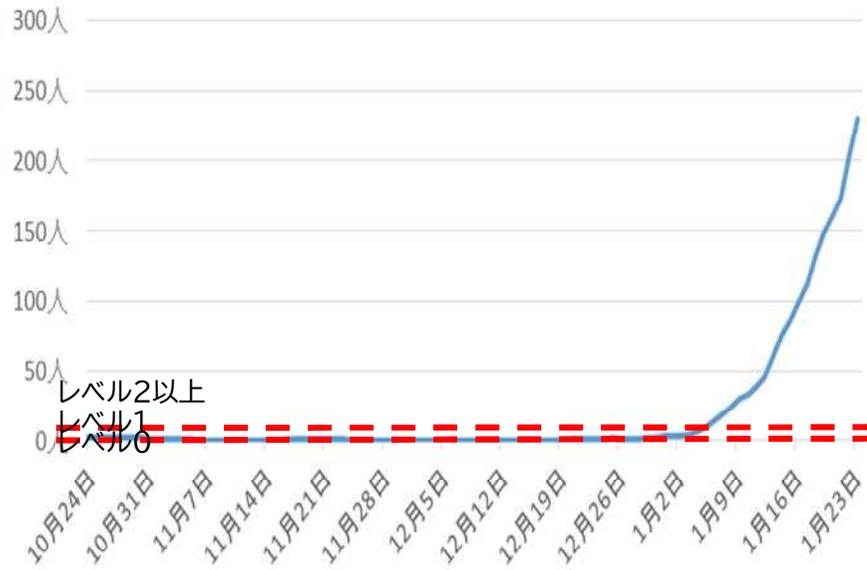
重症者用病床の最大確保病床の占有率



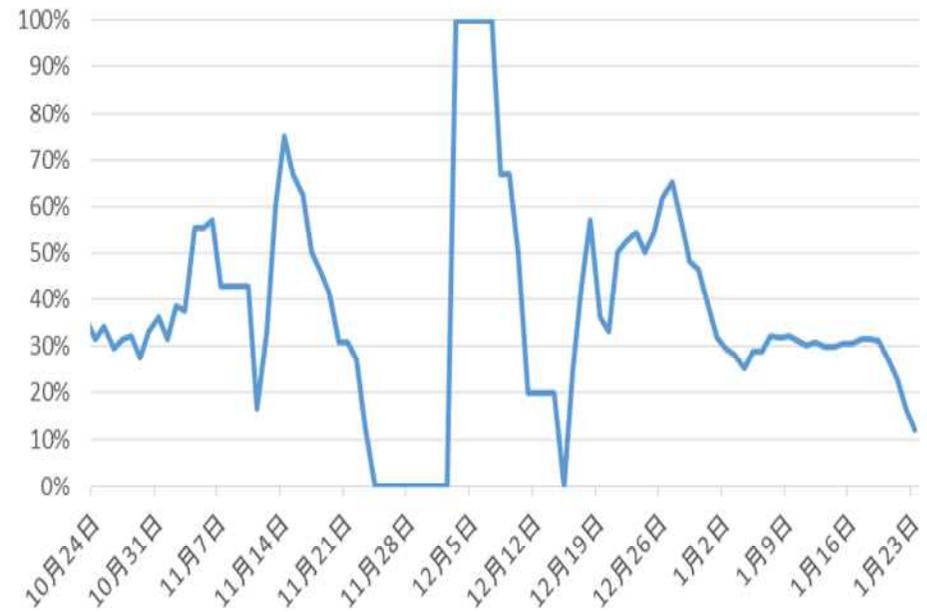
人口10万人当たりの全療養者数



直近1週間における人口10万人
当たりの新規報告数



感染経路不明割合



評価(1/17~1/23の感染状況)

- 年末から全国的に新規感染者数が急増しています。本県においても、1週間の新規感染者数が先週は1407人と過去最多となりましたが、今週はさらに上回る3260人となりました。
- 1月22日には、これまでの新規感染者数を大きく更新する701人の感染が確認され、曜日別最多を更新し続けています。
- 医療提供体制は入院基準の見直しを行い、必要な方へ医療を提供する体制は維持できていますが、新規感染者数の急増に伴い、自宅療養者数が急増しています。
- 若い世代の感染者の増加が顕著ですが、全ての年代で増加傾向を示しています。また、65歳以上では中等症化している方の割合が他の年齢層と比べて高く、当該年齢層の方および当該年齢層の方と接する方々は特に対策の徹底が必要です。また、医療機関や福祉施設等のハイリスクな場所でもクラスターが複数発生しており、医療提供体制が悪化していく可能性が非常に高い状況にあります。
- 事業所や学校など様々な場所でクラスターが発生しており、クラスターの連鎖を起こさない必要があります。
- 国内では明確に収束傾向にある地域はなく、今以上に感染が拡大する可能性が懸念されます。改めて、手洗い、会話時のマスク着用、換気や密の回避など基本的な感染対策の徹底・強化が必要です。事業所等では、クラスターを起こさない環境の整備をお願いするとともに、陽性者が出ることを想定し、事業継続計画の確認を併せてお願いします。